

科目ナンバリング		U-LAS02 10001 LJ35							
授業科目名 <英訳>		芸術学Ⅰ Theory of Arts I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 武田 宙也	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
おもに17世紀から19世紀にかけての西洋美術について、同時代の社会的・思想的状況とのかかわりの中で見てゆく。さまざまな芸術的潮流が生まれた背景には、美術にとどまらず哲学、科学、文学などその時代特有の知的営為が複雑に絡み合っている。本講義では建築まで含む広義の造形芸術をこのような複合的な文脈のなかに置き直すことによって、たんなる様式的変遷にとどまらない意味を照らし出す。									
[到達目標]									
近代の芸術がどのような文脈の中から生まれてきたのか、そこでどのような事柄が問題となっていたのか理解する。									
[授業計画と内容]									
以下のテーマについて、それぞれ2回程度の授業を行う（フィードバックを含め全15回）。 1．古典主義 2．バロック／ロココ 3．新古典主義 4．ロマン主義 5．写実主義 6．印象派 7．新印象派									
[履修要件]									
芸術学（後期）の連続した履修を推奨する。									
[成績評価の方法・観点]									
コメントカード（40％）および試験（60％）。									
[教科書]									
授業内で適宜プリントを配布									
[参考書等]									
（参考書） 授業中に紹介する									
[授業外学修（予習・復習）等]									
授業ノートや配布物を読み直して授業内容を自分の中で整理すること。授業中に紹介した参考文献を読むこと。美術展等にできるだけ出かけて作品を実見すること。									
[その他（オフィスアワー等）]									
[主要授業科目（学部・学科名）]									